

港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られています。「広報みなと」などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。詳細は、下記をご覧ください。

「港区観光協会」ホームページ
(<http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/>)

ガイド派遣サービス申込方法

1 港区観光協会ホームページにアクセスします。



2 右下の「ボランティアガイド」の「ガイド派遣サービス」をクリックします。

3 タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目を入力して、「送信する」をクリックください。



- 申込人数:原則として4名以上、20名以内
- 申込時期:希望日の2ヶ月前から2週間前まで
- ガイドの手配が難しい場合もあることをご了解ください



問合せ先 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6452-8666 (平日9~13時)

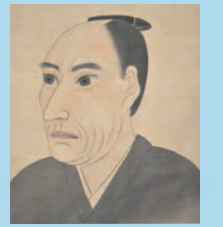
発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝公園4-4-7
編集 港区観光ボランティアの会 発行年月 令和2年9月

幕末、黒船来航によって作られたお台場

蕪山代官「江川英龍」の活躍

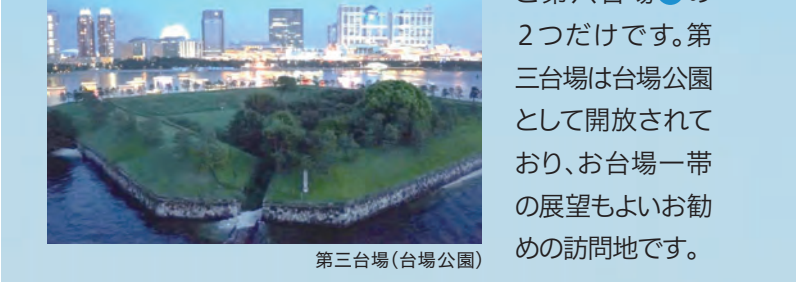
日本の開港を求めて各国の船が立ち寄る中、ペリー率いる黒船が米大統領の親書を將軍に渡すべく、嘉永6年(1853)に浦賀に入港しました。江戸湾奥まで測量に入ったことに恐れをなした幕府は、海防に詳しい江川太郎左衛門英龍(1801~1855)に命じて対抗策を作らせました。江戸防衛のため御殿山下台場を含め12基、海上台場は品川から深川沖まで11基を作る計画が認められ、すぐに着工されて6つの台場をわずか1年あまりで作り上げました。5000人の夫と2000隻の船を使い、石垣に使う石は伊豆や安房から、土は御殿山や泉岳寺の裏山から運びだして短期間で作り上げられたのは、設計から陣頭指揮まで行った江川英龍のおかげです。

伊豆蕪山の代官として領民に善政を行い「世直し江川大明神」と慕われており、世界遺産にもなった「蕪山反射炉」も並行して建設し、多くの幕府のお役目をはたして大活躍でしたが、過労もあり台場完成のすぐ後に満53歳で亡くなりました。「回れ右」などの号令を発案し、日持ちする乾パンを開発してパンの祖とも言われています。



伝江川英龍自画像(江川文庫所蔵)

翌年3月のペリー再来で「日米和親条約」が結ばれて、台場は計画半分で中断して実際は使われませんでした。埋立地に吸収されたり取り壊されたりして、現存するのは第三と第六台場の2つだけです。第三台場は台場公園として開放されており、お台場一帯の展望もよいお勧めの訪問地です。



第三台場(台場公園)



芝浦が国内初の海水浴場…?!

江戸時代、芝浦地区はそのほとんどが海でした。当時は、江戸前の魚などが捕れる豊かな漁場で、芝浦で捕れた魚は「芝肴」と呼ばれ、將軍にも献上されたそうです。

明治時代には、新鮮な魚と房総半島を見渡せる風光明媚な海岸にも恵まれ、料亭や旅館が軒を連ねるリゾート地として栄えました。行楽以外にも海水浴(潮湯浴)を目的に訪れる人もたくさんいました。



芝浦海 最新東京名所百景(港区立港郷土資料館所蔵)

芝浦海水浴場は、明治11年(1878)に開設されました。当時の海水浴は病氣療養や健康増進のため、海で泳ぐのではなく海水を沸かした湯に浸かるというものでした。これまでは、明治18年(1885)に開設された神奈川県の大磯海水浴場が発祥の地とされていましたが、数年前に芝浦海水浴場開設の申請書類が確認されたことにより、芝浦海水浴場が「国内初」という説も生まれました。



芝浦水泳所絵巻書(港区立港郷土資料館所蔵)

芝浦海水浴場が有名になると、周辺には料亭や旅館が多く並び、芝浦花街が発展しました。

リゾート地として栄えた芝浦も東京港湾整備の一環として、明治39年(1906)から埋め立てが始まり、海水浴場も最大の売り物であった海岸線の景観が失われ、料亭や旅館も軒並み廃業しました。現在は、「重箱堀」と称され、大正2年(1913)に芝浦運河の船溜まりとして整備された石積護岸となっています。

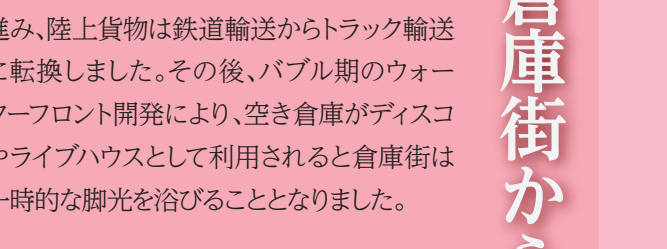


重箱堀(芝浦一丁目)

ベイエリア「昭和の倉庫街から平成の高層住宅街へ」

ベイエリアは埋め立てによって開発された街です。埋め立てとともに港からの物資輸送のための水路として運河が作られ、運河沿いには運ばれてきた物資を保管するための倉庫がたくさんありました。

昭和に入り、汐留駅から芝浦駅までを結ぶ貨物専用の芝浦臨港鉄道が開通し、昭和40年代の高度経済成長期には170万トンもの貨物を取り扱うようになりました。しかし、コンテナ船やフェリー就航などの輸送革新が進み、陸上貨物は鉄道輸送からトラック輸送に転換しました。その後、バブル期のウォーターフロント開発により、空き倉庫がディスコやライブハウスとして利用されると倉庫街は一時的な脚光を浴びることとなりました。



昭和初期の芝浦橋



レインボーブリッジ



平成高層住宅街

平成5年(1993)には芝浦と台場を結ぶレインボーブリッジが開通し、同様に湾岸地域の再開発も急速に進められました。その代表的なのが、平成19年(2007)に島びらきとなった大規模な高層住宅群「芝浦アイランド」です。49階建ての高層マンション4棟に、約1万人が暮らしています。運河の脇には遊歩道が整備され、水辺の景色を楽しみながら、散歩することもできます。

今後も再開発が進み、新しい建物の建設が予定されているベイエリアの発展が注目されています。



MINATO-KU MACHI MAP
港区まち歩きコースマップ
E エリア

芝浦・台場
SHIBAURA / DAIBA



COURSE E1 芝浦コース	COURSE E2 港南コース
COURSE E3 レインボーブリッジコース	COURSE E4 お台場コース

港区観光協会

COURSE E1 芝浦コース

11 西郷南洲・勝海舟 会見の地

東征軍による江戸城総攻撃予定日の前日、慶應4年(1868)3月14日、西郷隆盛と勝海舟の会談が、ここにあった薩摩藩の蔵屋敷で行われ、江戸城の無血開城が決まりました。



12 本芝公園(雑魚場跡)

江戸時代は魚市場本芝町の雑魚場で、芝肴と呼ばれた江戸前の小魚や魚介類が豊富に水揚げされ、浅草草苔の生産地としても有名でした。古典落語「芝浜」の舞台にもなっています。



13 みなとパーク芝浦

芝浦港南地区総合支所、スポーツセンターなどが入っている港区の複合施設です。基本構想の段階から区民が参画し、防災機能の強化などへの取り組みが図られています。



14 新芝浦運河沿緑地

運河沿いに整備された遊歩道です。夕方、自動的にガス灯が点灯します。楽器を演奏する3人組の銅像「リバーサイドトリオ」という黒川晃彦の作品があります。



COURSE E2 港南コース

21 お肉の情報館

東京都中央卸売市場食肉市場内にあり、食肉市場の業務・役割・肉の生産・流通・市場・と場についての展示があります。東京都内で唯一の食肉市場です。



22 品川セントラルガーデン

品川駅港南口直結の再開発によって造られた幅約45m長さ約200mの公園で、水・光・土・石・風・草・木からイメージされた7つの造形物があります。



23 楽水橋

高浜運河に架かる橋で、名前は旧東京水産大学同窓会の楽水会に由来しています。



24 雲鷹丸

水産講習所(旧:東京水産大学、現:東京海洋大学)の練習船として活躍しました。現存する国産鋼製船舶では最古の船です。船上でのカニ缶詰製造に成功し、後の大型蟹工船の先がけとなりました。



25 鯨ギャラリー

セミクジラ(全長約17m)、コクジラ(全長約13m)の全身骨格標本が展示されています。開館は平日10時~16時、土曜日10時~15時、臨時休館等はホームページをご覧ください。



27 ソニーシティ

ソニー株式会社の本社で、平成18年(2006)に完成しました。免震構造で建築関係の賞を受賞した建物です。



28 品川シーズンテラス

ビル内には飲食店やクリニック、ランニングステーションがあり、隣接する3.5haの緑地では近隣にお住いの家族が寛ぐ姿も多く見かけます。季節毎の各種イベントやドラマのロケ地としても利用され、東京タワーを望む夜景スポットとしても人気を集めています。



29 芝浦中央公園

品川シーズンテラスに直結した公園で、ドッグランやアスレチックも整備されています。



COURSE E1 芝浦コース	
発 浅草線三田駅 三田駅A6出口	移動時間 1分
11 西郷・勝両氏会見地	3分
12 本芝公園(雑魚場跡)	3分
13 みなとパーク芝浦	3分
14 新芝浦運河沿緑地	10分
15 埠頭公園	5分
16 芝浦アイランド	20分
17 高輪大木戸跡	1分
着 浅草線泉岳寺駅	
所要時間(入場・休憩含まず)	約2時間

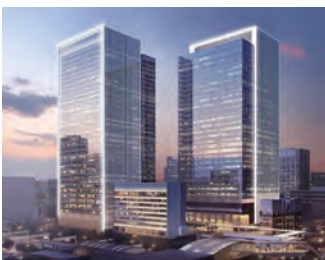
COURSE E2 港南コース	
発 JR 品川駅港南口	移動時間 5分
21 お肉の情報館	5分
22 品川セントラルガーデン	10分
23 楽水橋	3分
24 雲鷹丸	3分
25 鯨ギャラリー	5分
26 高浜運河沿緑地	3分
27 ソニーシティ	10分
28 品川シーズンテラス	3分
29 芝浦中央公園	1分
着 JR 品川駅港南口	10分
所要時間(入場・休憩含まず)	約1時間45分

COURSE E3 レインボーブリッジコース	
発 JR田町駅芝浦口	移動時間 0分
31 ムスブ田町	10分
32 芝浦アイランド	15分
33 レインボーブリッジ 遊歩道入口	10分
34 レインボーブリッジ	15分
35 台場公園展望地	10分
36 お台場海浜公園	10分
37 自由の女神像	3分
着 ゆりかもめ台場駅	
所要時間(入場・休憩含まず)	約2時間30分

COURSE E4 お台場コース

31 ムスブ田町

すでに商業施設はオープンしています。JR田町駅から屋根付き歩行者デッキで直結しており、そのデッキはみなとパーク芝浦まで繋がります。主に低層階は商業施設となっており、訪れる人たちが親しみやすい施設づくりに取り組んでいます。



32 芝浦アイランド

E1 芝浦コース 16 参照

33 レインボーブリッジ 遊歩道入口

ここから南北2コースに分かれ7階までエレベーターで上がります。北コースは都心方面の眺めがよく、南コースは第三・第六台場を眼下に眺められます。21時まで開放されており(11~3月は18時)夜景も楽しめます。



34 レインボーブリッジ

橋の中ほどにいくつか展望場所があり、歩道がせり出しているので撮影スポットになっています。平成5年(1993)完成当時の展望写真も掲げられているので、最近の高層ビルの多さを実感できます。



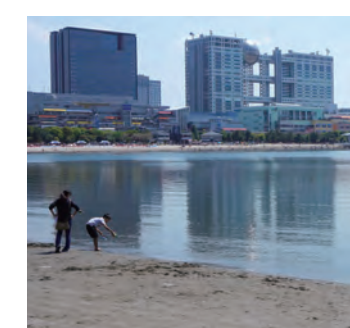
35 台場公園展望地

徳川幕府がペリーの黒船来航後に江戸防衛のために築いた砲台跡のうち、現存する第三台場と第六台場を見下ろすことが出来ます。(写真は台場公園となっている第三台場です)



36 お台場海浜公園

伊豆の神津島の砂を運んで作られた人工砂浜で、葛西臨海公園とともに都内で水遊び(遊泳禁止)が楽しめる貴重なビーチです。2020年の東京オリンピックでは、トライアスロンが行われます。



37 自由の女神像

パリにある自由の女神像が「日本におけるフランス年」事業の一環として平成10年(1998)から1年間設置されました。好評のためフランスからレプリカ製造を許可され、2年後に設置されました。



41 台場公園

お台場海浜公園から地続きで行ける第三台場は、公園として公開されています。陣屋跡や火車跡が見られます。石垣の上には砲台のレプリカもあり、周囲の展望も楽しめます。



42 お台場海浜公園

E3 レインボーブリッジコース 36 参照

43 自由の女神像

E3 レインボーブリッジコース 37 参照



44 フジテレビ

丹下健三設計による、メタリックな素材の球体展望室「はちたま」が組み込まれたオブジェのような造形になっています。



45 ダイバーシティ東京 プラザ

「劇場型都市空間」をコンセプトに開業した商業施設です。この施設のある台場エリアは港・品川・江東区の3区にまたがったエリアで、敷地内の広場にはガンダムの実物大立像がそびえ立ち、海外の旅行者にも人気です。



46 シンボルプロムナード公園

台場、青海、有明の各地を結んで、臨海副都心内のさまざまな施設をつないでいる遊歩道の公園です。



47 船の科学館

昭和49年(1974)にお台場エリアに最初にオープンした施設で、一時期は人気を集めました。平成23年(2011)に休館して現在に至っています。屋外展示場や南極観測船宗谷の見学は継続しています。



48 南極観測船 宗谷

昭和31年(1956)から6年間、南極観測船を務めた船です。強運の船としても知られ、戦争中は魚雷を被弾しても不発弾だったなどの逸話があります。

